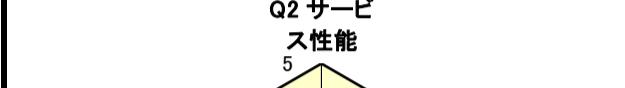
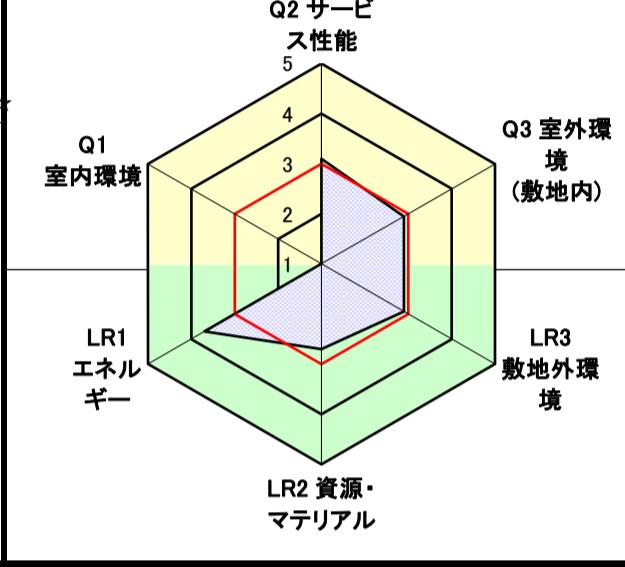
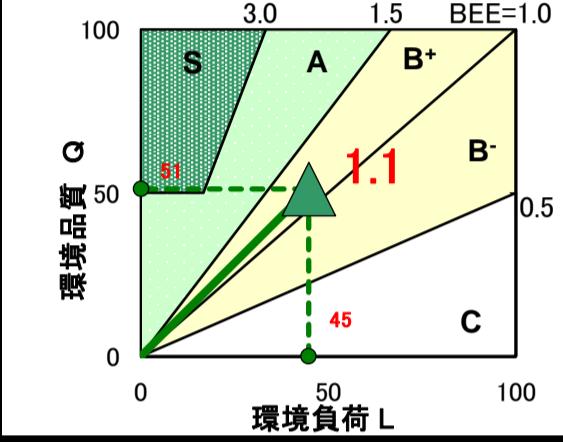
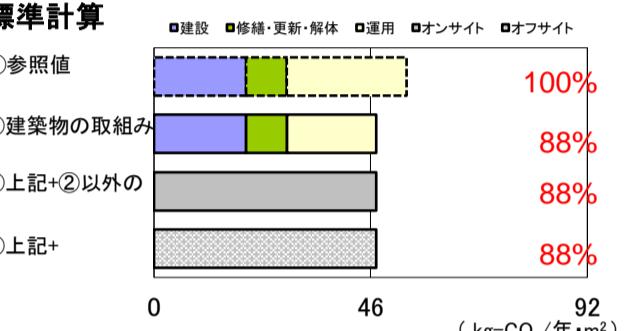


# CASBEE あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シンボ株式会社 新名古屋工場	階数	地下0階地上3階
建設地	愛知県みよし市明町八和田山3番10他 20筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域 法第22条区域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年3月9日
敷地面積	9,553 m <sup>2</sup>	作成者	江川 晃一郎
建築面積	4,018 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月29日
延床面積	6,264 m <sup>2</sup>	確認者	江川 晃一郎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																																													
BEE = 1.1																																																																	
<b>BEE = 1.1</b> S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★ 		<b>標準計算</b> ①参照値 100% ②建築物の取組み 88% ③上記+②以外の 88% ④上記+ 88%  <small>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したもの</small>																																																															
<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Q 環境品質</th> <th colspan="2">Q のスコア = 3.0</th> </tr> <tr> <th colspan="2">Q1 室内環境</th> <th colspan="2">Q2 サービス性能</th> <th colspan="2">Q3 室外環境 (敷地内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">Q1のスコア = 0.0</td> <td colspan="2">Q2のスコア = 3.1</td> <td colspan="2">Q3のスコア = 2.9</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>温熱環境</td> <td>光・視環境</td> <td>空気質環境</td> <td>生物環境</td> <td>まちなみ</td> </tr> <tr> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">LR 環境負荷低減性</th> <th colspan="2">LR のスコア = 3.2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">LR1 エネルギー</th> <th colspan="2">LR2 資源・マテリアル</th> <th colspan="2">LR3 敷地外環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">LR1のスコア = 3.7</td> <td colspan="2">LR2のスコア = 2.7</td> <td colspan="2">LR3のスコア = 2.9</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の効率的</td> <td>自然エネ</td> <td>水資源</td> <td>非再生材料の汚染物質</td> <td>地球温暖化</td> <td>地域環境</td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>4.0</td> <td>3.4</td> <td>2.5</td> <td>3.4</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table>						Q 環境品質				Q のスコア = 3.0		Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)		Q1のスコア = 0.0		Q2のスコア = 3.1		Q3のスコア = 2.9		音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境	生物環境	まちなみ	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	2.0	4.0	LR 環境負荷低減性				LR のスコア = 3.2		LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境		LR1のスコア = 3.7		LR2のスコア = 2.7		LR3のスコア = 2.9		建物外皮の効率的	自然エネ	水資源	非再生材料の汚染物質	地球温暖化	地域環境	5.0	4.0	3.4	2.5	3.4	2.4
Q 環境品質				Q のスコア = 3.0																																																													
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)																																																													
Q1のスコア = 0.0		Q2のスコア = 3.1		Q3のスコア = 2.9																																																													
音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境	生物環境	まちなみ																																																												
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	2.0	4.0																																																												
LR 環境負荷低減性				LR のスコア = 3.2																																																													
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境																																																													
LR1のスコア = 3.7		LR2のスコア = 2.7		LR3のスコア = 2.9																																																													
建物外皮の効率的	自然エネ	水資源	非再生材料の汚染物質	地球温暖化	地域環境																																																												
5.0	4.0	3.4	2.5	3.4	2.4																																																												
<b>3 重点項目</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①地球温暖化への配慮</th> <th>③敷地内の緑化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.4</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②資源の有効活用</th> <th>④地域材の活用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	3.4	2.0			②資源の有効活用	④地域材の活用	2.9	1.0																																																		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化																																																																
3.4	2.0																																																																
																																																																	
②資源の有効活用	④地域材の活用																																																																
2.9	1.0																																																																
																																																																	
各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 ③敷地内の緑化 ④地域材の活用  外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$																																																																	
																																																																	

スコアシート	実施設計段階	配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>											
<b>Q1 室内環境</b>											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル											
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能					3.0	-					
2 界壁遮音性能						-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-					
1.3 吸音						-					
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
1 室温											
2 外皮性能											
3 ゾーン別制御性											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 昼光利用											
1 昼光率											
2 方位別開口											
3 昼光利用設備											
3.2 グレア対策											
1 昼光制御											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
4 空気質環境											
4.1 発生源対策											
1 化学汚染物質											
4.2 換気											
1 換気量											
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮											
4.3 運用管理											
1 CO <sub>2</sub> の監視											
2 喫煙の制御											
<b>Q2 サービス性能</b>											
<b>1 機能性</b>											
1.1 機能性・使いやすさ											
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画	独自										
1.2 心理性・快適性											
1 広さ感・景観 (天井高)											
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画											
1.3 維持管理											
1 維持管理に配慮した設計											
2 維持管理用機能の確保											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振											
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											
2 免震・制震・制振性能											
2.2 部品・部材の耐用年数											
1 転体材料の耐用年数											
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											
6 主要設備機器の更新必要間隔											
2.4 信頼性											
1 空調・換気設備	②										
2 給排水・衛生設備											
3 電気設備											
4 機械・配管支持方法											
5 通信・情報設備											

精密機械の地下への設置無し、災害時の有線電話設置有り、等

3 対応性・更新性	②	階高:1階4.3m、2階6.2m	0.4	3.3	0.48	-	-	-	3.3
			0.3	4.2	0.31	-	-	-	
				5.0	0.60	-	-	-	
			3.0	3.0	0.40	3.0	-	-	
			3.0	3.0	0.31	3.0	-	-	
			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
				3.0	0.17	-	-	-	
			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
				-	0.57	-	-	-	2.9
			2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
			4.0	0.40	-	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮	④		0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
				2.0	0.50	-	-	-	
			3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.2
				-	0.40	-	-	-	3.7
			3.0	5.0	0.20	-	-	-	5.0
			3.0	4.0	0.10	-	-	-	4.0
			3.0	3.5	0.50	-	-	-	3.5
			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	
			BPIm=0.67	3.0	5.0	0.20	-	-	
			トッピライトを設置	3.0	4.0	0.10	-	-	
			BEI=0.75	3.0	3.5	0.50	-	-	
				0.2	3.0	0.20	-	-	
			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
				3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	2.7
			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
			0.6	2.5	0.63	-	-	-	2.5
				0.2	3.0	0.22	-	-	
			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
LR3 敷地外環境			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
				-	0.25	-	-	-	
			3.0	3.0	0.21	-	-	-	
			3.0	1.0	0.21	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
				3.0	0.25	-	-	-	
			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率88%	0.3	3.4	0.33	-	-	-	3.4
				0.3	2.4	0.33	-	-	2.4
			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
			2.0	2.0	0.50	-	-	-	
			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
				3.0	0.25	-	-	-	
			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
			4.0	4.0	0.25	-	-	-	
			1.0	1.0	0.25	-	-	-	
2 地域環境への配慮		適切な量の自転車置場および駐車場の確保、荷捌用車両等の確保	0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
				3.0	1.00	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
			3.0	0.70	-	-	-	-	
			3.0	-	0.30	-	-	-	
			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
			3.0	0.70	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	3.0	0.30	-	-	-	
				0.4	3.0	0.40	-	-	
			3.0	-	1.00	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
			3.0	0.70	-	-	-	-	
			3.0	-	0.30	-	-	-	
			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
			3.0	0.70	-	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>		3.4	0.10	<b>3.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:31.3%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$   
重点項目スコア=

④地域材の活用  
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 シンポ株式会社 新名古屋工場

計画上の配慮事項	
総合	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。
Q1 室内環境	対象外。
Q2 サービス性能	階高を高く設定し、空間にゆとりをもたせている。
Q3 室外環境(敷地内)	建物外部には視線を遮るような樹木を配置しないなど、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	省水型機器などを用い水資源を保護している。
LR3 敷地外環境	敷地内に緑地を確保し、暑熱環境を緩和している。
その他	敷地内への搬入土、敷地外への搬出土ができる限り少ない計画とした。 傾斜地である敷地を2つの宅盤に分ける計画とすることにより、1つの宅盤とする計画と比較して、工事の省力化に努めた。